

いってきまーすの、その前に!



今回は、正確なハンドル操作が困難になる「パワーステアリングオイルに関するトラブル」と予防法、落下により重大事故の引き金になりかねない「スペアタイヤ落下」の予防法について紹介します。

パワーステアリングオイル

ハンドルから異音(グー、ウー)が出ていたら

もしかすると・・・

パワーステアリングオイルが不足*している可能性がある。

*異常に不足しているときは、液漏れの恐れも。

そのままにしておく・・・

●パワーステアリングが効かなくなり、ハンドル操作が重くなる。

予防のポイント!

- リザーブタンク内のオイル量が規定範囲内(基準レベル)にあるかを点検。
- オイル量点検時に汚れ具合も点検。オイルが汚れているときは交換が必要。
- オイルの異常不足時は液漏れの恐れもあるので、日野整備工場で点検・整備を。



点検時期	新車時は、1,000キロおよび5,000キロ走行したとき。 その後、事業用車3カ月ごと、自家用車1年ごと。
交換時期	新車時は、5,000キロ走行したとき。 その後、1年または60,000キロ走行ごと。

スペアタイヤ

取り付けているスペアタイヤがガタガタする

もしかすると・・・

スペアタイヤ取付装置の取付部に緩みが発生している。

そのままにしておく・・・

- 落下して交通の妨げとなる。
- 落下物が重大な事故を引き起こす恐れがある。

予防のポイント!

- 取り付けているスペアタイヤに緩みがないか、手で揺すったり、スパナを使ったりして点検。
- スペアタイヤを取り付けた後、異常な傾きがないか目視で点検。



大型トラック・バスのスペアタイヤ、およびツールボックスの定期点検は義務です。

スペアタイヤ・ツールボックスの定期点検(3カ月ごと)が、「車両総重量8トン以上のトラック」および「乗車定員30名以上バス」に義務付けられています。